

光市記者発表資料

平成28年 2月17日

件名	「大人のための文学講座」開催について
内容	<p>1 目的 読書啓発及び生涯学習の様々な機会の提供に努めることを目的として、文学講座を開催する。</p> <p>2 演題 「太宰治という磁場～文学表現とは何か～」</p> <p>3 講師 中野新治（なかの しんじ）氏（梅光学院大学教授）</p> <p>4 日時 平成28年3月13日（日）10時30分～12時</p> <p>5 場所 光市教育委員会ホール（光市光井九丁目18番3号）</p> <p>6 対象及び募集人数 高校生以上 50名（先着順・無料）</p> <p>7 申込先及び申込方法 光市立図書館 電話でお申し込みください。 TEL 0833-72-1440</p> <p>8 主催 光市立図書館</p> <p>9 その他 講座に併せ、太宰治に関する資料の展示・貸出を行う 期間：2月11日（木）～3月13日（日） ※2月20日（土）～29日（月）は、システム更新に伴い休館</p>
問合せ	担当課 光市教育委員会 図書館 担当者 林 由紀子 電話 (0833) 72-1440

☆ _____ ☆

ただ、一さいは過ぎて行きます。

自分がいままで阿鼻叫喚で生きて来た所謂「人間」の世界に於いて、たった一つ、眞理らしく思はれたのは、それだけでした。

ただ、一さいは過ぎて行きます。 ~『人間失格』より~

☆ _____ ☆

日時：平成28年3月13日（日）

10：30～12：00

場所：光市教育委員会ホール

（光市光井九丁目18番3号）

対象：高校生以上

定員：50名（先着順・無料）

講師：中野 新治 氏（梅光学院大学教授）

1947年山口県生まれ。関西学院大学文学部日本文学科卒。

著書『宮沢賢治・童話の読解』にて1995年度宮沢賢治賞奨励賞を受賞。著書『宮沢賢治・童話の読解』（翰林書房）など。

太宰 治（だざい おさむ） 1909～1948年

作家。青森県生まれ。本名、津島修治。津軽地方の大地主の家に生まれ、旧制高校時代から短編小説を書く。東京帝国大学（現在の東京大学）に入り、共産主義運動に加わるが、挫折し、大学も中退する。1935（昭和10）年に『逆行』が芥川賞候補になり、翌年には最初の創作集『晩年』を出版する。しかし、精神的に不安定な状態がつづき、薬物中毒になり、何度か自殺をこころみる。1938年に結婚したころから安定した生活を送るようになり、『富嶽百景』『走れメロス』『津軽』などの作品を書いた。1947年に発表した『斜陽』は、若者を中心に多くの読者の支持を集める。その後、自伝的な要素の強い『人間失格』を書き上げる。新聞に『グッド・バイ』を掲載中、女性とともに玉川上水に投身自殺した。

～『総合百科事典ポプラディア』（ポプラ社）より～

主催：光市立図書館

問合せ・申込先：光市立図書館 TEL：0833-72-1440

文学表現とは何か
太宰治という磁場